

小山町・小山ヶ丘のプロモーション小冊子

A Promotion Pamphlet for Oyamamachi & Oyamagaoka

AD05 市村 麻美
AD54 竹村 千尋
指導教員 井上 謙・西野隆司

1. 研究目的

サレジオ高専のある小山ヶ丘及びその周辺の小山町地域は、京王相模原線が開通したことで急激に人口が増加した。それに伴い新規居住者や外部に向けて地元各団体のプロモーション活動を行う必要が生じた。そこで、小山商栄会が計画していた小山町・小山ヶ丘地域の特徴や風土をわかりやすく解説した小冊子の制作協力依頼を受け、地域により密着した情報ツール兼プロモーション冊子の提案を行うことにした。今回は「アレサ第二弾」を作成する。

2. 調査と分析

- ①第二弾を発行するうえで今回の制作に役立てるため、前回のアレサの改善点「文字が小さい、商店街紹介の構成が見にくいなど」を見つけ出した。改善策として商店街紹介の文字や写真構成など実際のフリーペーパーを参考に読者が見やすいものをデザインした。
- ②今回防災対策ページを新企画として取り入れ、その制作にあたり町田市防災課への取材を行った。町田市の防災対策冊子は実際にはあるが町田市地域住民には重要視されていない事がわかり、身近なフリーペーパーの企画の一部として載せる事により防災対策情報を地域住民にわかりやすく伝える必要性を感じた。

3. コンセプトの立案

- ①第二弾で新キャラクターを提案し、読者が楽しめるような生活に役立つフリーペーパー、また家族全員で一緒に読める小冊子へ。
- ②今回は新キャラクターを提案し前回のキャラクターと共に小山・小山ヶ丘を紹介していく形式で小冊子の色調と構成は全体的に明るくポップなイメージを採用。

4. デザイン展開

アレサ制作委員会の人達との打ち合わせにより小山商栄会の要望「子供と親が楽しくわかりやすく学べる冊子にしてほしい」などに対応し、全体的に雰囲気統一した。また前回のアレサの改善点で文字が見にくいということから、見出しのフォントを自作フォントに置き換え制作することで見

出しが強調され読者に見やすく、親しみを持ってもらえるように構成した。前回のロゴマークの色も変更することにより、アレサのイメージを読者に強い印象を与える。

防災対策ページは調査内容を基に、よりわかりやすくイラストや写真、マップなどで構成した。防災のイメージを変える明るい配色やキャラクターを用いることで読者に防災対策をもっと身近に感じてもらう事を目的として制作した。コンセプトであるフレンドリーを重視しパステルカラーで全体を統一、全ページにキャラクターを配置し、小山・小山ヶ丘の歴史・自然を読者と楽しく情報を得てもらうことを一番に考え構成した。

5. 完成図



6. 結論

- ①情報の整理、読者の立場に立ってデザインを考える事を最初の段階で全部決定する事が大事だと感じた。全ページ共通にするためのテンプレート最初を作る事が大事だと感じた。
- ②取材などで街の人たちの声を生で聞いたり見たりしてより内容が充実した。情報を整理する上でも、読者の気持ちを考えてデザインする事が出来た。モデルの感想は前号よりも明るくイメージが変わった、見やすくなったなどの意見があり目的を達成出来た。

7. 参考文献

- ・町田市ホームページ
<http://www.city.machida.tokyo.jp/>
- ・公園へ行こう！
<http://www.tokyo-park.or.jp/>